

'71

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 609 号

1971.6.29 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

四つのテスト

——言行はこれに照してから——

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and
better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all
concerned?

◁ 隔りを取り除こう ▷

出席報告

本日の出席	会 員 数	63名
	出 席 数	53名
	出 席 率	84.13%

欠 席 者 阿宗君、荒明君、長谷川(文)君
平田君、海東君、金野君、三
井(徹)君、斎藤(信)君、篠原君
富樫君

前回の出席	前回出席率	65.08%
	修正出席数	54名
	確定出席率	85.71%

マークアップ 阿部(裏)君、三浦君、嶺岸君
一山形RC

藪田君一米沢RC
新穂君一酒田RC
五十嵐(伊)君、五十嵐(一)君
海東君、黒谷君、小花君、三
井(徹)君、中山君、富樫君
一鶴岡西RC

ビジター 奥村知介君一習志野RC
五十嵐正雄君一鶴岡西RC

バナー交換

習志野RC (奥村知介君持参)

スマイル

小池繁治君

会長の任務を無事終了したため

五十嵐正雄君(鶴岡西RC)

会長の任務を終了し、その間鶴岡クラ
ブの支援に感謝して。

会長からの要請

任期中最後の要請であり、かつもっとも大
切なことです。というのは前回の例会でお
願いした会費のことで、来年度から従来の4
万円から5万円に値上させていただくこと
があります。何とか会員の皆さんからご賛同し

会報はご家族みんなで読ましましょう

ていただくようお願いします。

このことについて出席会員一同異議なく次年度から5万円に会費値上げが決定しました。

会長の挨拶

本日が私の任期中最後の例会に当り、この一カ年の間会員の皆様から大へんお世話になりました。特に理事幹事はじめ会員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

当初会長をおおせつかったときに、已むを得ず引受けざるを得なくなって引受けたということ、自分に言いきかせて決心を固めたのであります。自分のことは自分が一番よくわかっている、クラブ全体をよく運営して行くという、そういう手腕もないし、かつ自信もなく、皆様のご期待に添えるような会長には絶対なり得ぬことで出発したのであります。それでも、どうやら一年間任に就かせていただいたことは、皆様の誠のロータリー精神の友愛の賜で、いろいろと寛容していただいた点もあり、いうなれば皆様の友情に甘えて本年度最終例会にこぎつけたことを心から感謝申し上げます。

唯ロータリーの例会のときは司会が主な任務ですが、そのほか予想外にロータリークラブ会長の名前で他の会合に出席しなければならないことが、近頃非常に多くあったような気がします。その場における言行が、ロータリークラブとしての言行になるので、何となく重苦しく感じられました。

不徳のいたすところで、外部の会合では、ひや汗の出るような思いもありましたが、そのために鶴岡ロータリークラブのイメージがアップしたか、ダウンしたかは別としても、責任を感じない訳ではなかったのであります。ただその責は私にあるので、会員の皆様

からは寛容お願い出来るとしても、自分としては大変な重荷に感じないわけには行かなかったのであります。

皆様の評価はさておき、私の一年間の経験というものは、私にとって本当に贅沢な場を与えられたというような感じがいたします。

プロフィットというのは金銭的な利益を云うのかどうかわかりませんが、精神的な利益もプロフィットとすれば、私にとってこの一年間に、そのようなプロフィットを得たとすれば、皆様に心から感謝申し上げなければならぬことです。

いやいやながら引受けて、感謝して退任するということに対し、心から御礼を申し上げます。

顧みますと、最初の例会のときから種々の事情があって家族会などにしたこともあり、また交歓学生であったアイリン嬢の御両親が当地にお出でになったり、鹿児島西RCの方々が親交を深めにお出でになったりしたこと。それから近隣クラブの温海、余目、遊佐最上のチャーターナイトが夫々行われたなどということ。また当クラブが関係した高専のインターアクトクラブのチャーターも今年にやられるということもあり、加えて社界情勢としても、この一年間選挙続きで、更に当市としては文化会館、青年センターの竣工落成などがある、クラブ内外を問わず、追いかけるように過ごした一カ年と感じられます。

本年度のターゲットであるブリッジ・ザ・ギャップを、私自身が深く考えて行動したかということになると何かすーっと過ぎてしまった憾がして、大へん申し訳ないと思いません。

幸に、次の会長の三井さん、幹事の高橋さんという手腕あふれ経験豊かなコンビが出来ますことでほっとしております。その方々達

にバトンタッチをすることは、ますます鶴岡RCが発展することを約束されたも同然であって、私の任務もこれで終を告げたことになります。

それから数10回になりますが、理事会を開き、これに出席していただいた理事、役員の方々とともに、私にとってはかけがえのない上野幹事から行届いた才量をふるっていただき、事務的なことをすべてやっていただきました。その他会員の諸先輩には、いろいろと御指導をいただき本当に有難く感謝申し上げます。次第であります。

それから次年度の会長、幹事さんに対するお願いですが、新しい会長、幹事さんは、何も前年度のことを踏習しなければならぬというものは何もないので、独自の考え方で一カ年やっていただければそれでいいではないかと思いますのでよろしくおねがいします。

幹事挨拶

私にとって最後の幹事報告を行ないましたが、この一年を顧みますと、私としては労を惜むというような気持は全くないつもりであります。然し才能がないというものは致し方のないもので、今考えてみると幹事がやるべき仕事をやらなかったり、或は、他の会員にやっていただいで平気でいたりしました。特に会長さんには、その女房役になってバックアップしなければならぬのに最後まで手足纏いになったようで、誠に申し訳なく存じます。

鶴岡西RC会長の挨拶

鶴岡西ロータリークラブが誕生してから5代目の会長を勤めさせていただいております。特別代表の小花先生はじめ鶴岡クラブの方々の御援助のお蔭で、どうやら5カ年間を経ました。会員の増強も意の儘にならなかつ

たのですが、最近30名近いところまで会員もふえたのも皆様の御協力のお蔭と感謝いたします。

特に当クラブの小池会長とは中学の同級生ということもあって、気易くいろいろと御援助をお願いして、どうか少人数クラブがボロも出さずに済んだことはまことに幸に存じます。いろいろおんぶして何とかやってきましたので今後新会長になっても当クラブの新会長、幹事さんともども御引立のほどをおねがいいたします。有難うございました。

現会長らに捧げる感謝の言葉

早坂源四郎君

唯今齋藤栄作先生から、君一つ小池会長に感謝の辞を申し上げるようと、お申し付けがありました。考えてみたら私と齋藤得四郎さんが、指名委員の中から選ばれて代表になり、小池さんの家に口説きに行ったことを気憶しております。あのときも小池会長に理屈をならべたところで、頭はいいし私よりも勉強しているので、とてもだめだということでも何を云ったかという先程会長が云われるにはプロフィットということを盛んに言ったように思い出します。

この前の会合のときに酔ばらって、プロフィットは、私としては飽までも物質的に解釈すべきであるということを力説しました。いま小池会長のお話を聴いてそれを修正いたします。やはりこれは精神的に解釈すべきと思います。その点はとにかく、幹事の上野さんも謙遜した言葉を申されましたが、私はこれ以上の名コンビはないと思っております。それに会報委員に、SAAの方にも一年間大へんご苦勞をお掛けしました。

小池会長は、非常に頭脳のクールな方で、私などは少し昂奮し易い性格の者ですが

小池さんはおそらく冷静にクラブの動向を、右か左に察知してうまく運営され、昭和生れにしては出来すぎた大器だと思います。皆さんも同感のことと存じます。よく学びよく遊ぶ優れた名会長でした。

さて、この次は更に三井名会長を迎えることになりました。当クラブの発展これに過ぎるものはないと思っております。

現会長はじめ大変ご苦勞様でした。厚く感謝申し上げます。

ロータリー日本50年誌のことなど

高橋 正太郎君

私から一言訂正申し上げたいと思います。先週の例会で、(お手許の会報にも出ていますが)私の地区協議会に出席しての記事の中に、東京ロータリークラブの50年誌云々と書いてありますが、小池会長の方から忠告がありました。それは、ロータリー日本50年誌のまちがいでなからうかということでした。その文章が前に入っているということでもあります。私のノートによれば、まちがないつもりで東京50年誌と申し上げたのですが、そうでなくロータリー日本50年誌のまちがいであるという風に訂正させていただきます。

なお既に7部ほど予約済みになっております。要点を簡単に申し上げますと、現在の日本のロータリークラブ会員は約5万名ですから、配本開始時には5万5千名、またその後の増加会員の力の予備ならびにクラブ所在地の図書館および学校への寄贈用を5,000部見込んで合計6万部を印刷したとのことでした。

それで、各クラブは会員数の1割増の部数を注文していただくように御協力を求められております。また限定印刷で再版はなさぬほうであります。

内容を紹介しますと、国際ロータリーにな

るまで、東京クラブ創立から国際ロータリー離脱まで、日満ロータリー解散から終戦まで終戦から復帰するまで、復帰から東京国際大会まで、新しい波から万国博開催まで、となっており写真が120入っております。大きさはB5版です。約500頁あるようです。このことを訂正として申し上げます。

次に7月1日に新年度のクラブ協議会を開きたいと思っております。お手許の役員委員名簿の理事各委員長の方は当日午後5時より、ここにお集り願います。御都合のつかない方は、必ず委員の方一名の派遣をねがいます。会費は1,500円です。よろしくねがいます。

幹事報告

会報到着

八戸RC、八戸東RC、会津坂下RC

5周年記念誌

岐阜長良川RCより

例会変更

天童RC 7/10(土) PM5.00

象潟RC 6/30(水) PM6.30

山形RC 6/30(水) PM5.30

能代南RC 7/6(火) PM6.30

米沢RC 7/1 以降例会場

米沢大沼デパート5階

年次大会案内

第369区10/23(土) 10/24(日)

米子市公会堂

かく筆にあたって 現会報委員長

満足に文章も書けず、ロータリーの知識に乏しい者が、ご指命により過去1ケ年の間拙い会報を編集させていただきました。不敏にして発言なさった方々のご意志が正確に表現できなかったことも多かったと思ひ恐縮しております。

また、折角発言なさった方々のスピーチの内容をダイジェストする能力に欠けるため、ただだらの文章となり、徒に頁数の超過をきたしました。そのため多額の予算オーバーとなり、会員各位に大へんなご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。